

令和2年度 “ふじのくに”^{しみん}士民協働 施策レビュー 改善提案とりまとめシート

1 基本情報

政策	政策5 富をつくる産業の展開		
政策の柱	5-1 次世代産業の創出と展開		
議論した施策	(2) 新たな成長産業の育成		
実施日/班名	10月11日(日)第5班	担当部局名	経済産業部 産業イノベーション推進課 新産業集積課

2 コーディネーター取りまとめコメント (コーディネーターが議論を総括して取りまとめ)

ICT人材の確保育成が重要な課題であり、大学と企業、企業間での人材マッチングや、小学生からICT教育を導入などに取り組むべきである。女性のライフスタイルとICT産業が合致しており、女性の職業としての魅力を伝えることにより人材が確保できるのではないかと。

また、静岡県ならではの産業を更に伸ばすため、医療産業とITのマッチングなど、医療産業を静岡の基幹産業として重点的に育成するほか、県内市町と連携して産業振興を図る必要がある。

なお、全ての施策について、県民にしっかりとPRし、産業基盤がしっかりとしていることを県民、そして内外に発信していくことが重要である。

3 施策改善案 (県民評価者が記載した改善提案シートの取りまとめ)

- 地域が持つ特色やノウハウを活用し、本県ならではの新たな産業の育成や、付加価値化に取り組むとともに、先端技術を有する企業の誘致や他産業とのマッチングを推進する必要がある。
- 学校教育と連携して、小学生のころから、パソコンに触れる機会を増やすなど、県内におけるICT人材の確保・育成を強化するとともに、有能なICT人材を他県へ流出させない、他県から呼び込むような取組が必要である。
- SNS、動画配信サイトなど多様なツールの活用により、就職を控える学生や静岡県民に対して、新たな産業分野の取組や本県産業の優位性を積極的に情報発信することが求められる。
- 医療分野はコロナ禍を契機に更に需要が高まる産業であり、医薬品・医療機器合計生産額全国1位である強みを更に推進するため、関連産業の集積や他産業との連携など、複合的に強化することが必要である。